



株式会社AOILO 代表取締役 梶山 智大さん

2020年12月に設立された株式会社AOILOは、地域に根ざした様々な事業を行う会社だ。事業内容は多岐にわたり、主に4つの事業を展開している。それぞれの事業に関して梶山さんに話を伺った。

1つ目のスノーアート事業では、「地域の観光コンテンツの1つとして、冬の観光の起爆剤になれば」という思いから始まり、広大な雪原を歩いて絵を描く活動を行っている。2020年2月には、初のイベント「スノーアートヴィレッジなかさつない」を開催し、地域団体との協力やメディア露出を通じて注目を集めた。また、2022年2月には、梶山さんの活動が広告会社の目に留まり、某有名漫画とのコラボレーションも実現している。

2つ目のフード事業では、ローストチキンやキッシュなど、いずれも十勝産の素材にこだわって作っている。「地場産品の魅力を伝え、食卓を彩り笑顔を生む」というコンセプトの下、既存の食文化に新たな価値を加えることを

大切にしている。食のもつ温かさと、地域の豊かな食材が融合し、特別な食体験を生み出している。

3つ目のワイン事業では、中札内村のワインショップ「Le bleu wine&food」の運営を行い、日本ソムリエ協会（JSA）認定ソムリエ店主が厳選したワインの提供、帯広市内のイタリアンレストランのワインメニューを監修している。

4つ目に2021年4月から始まった札内川園地の指定管理事業では、「キャンプや散策だけでなく、訪れる目的が増える場所」を目指し、イベント企画や体験プログラム、ガイドツアーを提供。知事認定ガイドによるガイドツアー、モルックやピザ作り体験をはじめ、家族や仲間と楽しめる活動を充実させている。特に令和7年度からは、「親子」にフォーカスしたワークショップを毎月開催予定。ピザ作りやカヌー体験、木工、燻製など、親子で学び楽しめる場を創出し、地域コミュニティの活性化に寄与している。

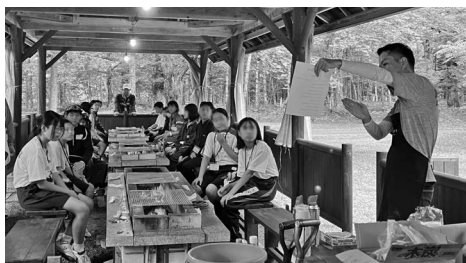
多くの経験を積み教師としての「経験の幅」をもつ。

このように、様々な事業を展開している梶山さんだが、仕事をする上で特に大切にされていることとして、「自分たちが多角的な事業を展開するに当たり、何がお客様の本当に役に立つかを考え、商品やサービスに付加価値を付けてお届けすることです。単なる商品やサービスの提供ではなく、そこから生まれる体験や交流を重視しています。地域のよいものを生かしながら、付加価値を創出し、心に残る体験を届けることを目指しています。また、子ども向けの活動にも力を入れていきます。それは、自分自身の子育てを通じて、子どもが喜び楽しみ学ぶ姿はとも輝かしく掛け替えのないものだと思うからです。そこで、親子で楽しめる場所や体験の必要性を感じ、令和7年度からの札内川園地での事業ではこれまで以上に、『親子での体験』を増やします。親子で一緒に楽しんでもらえる企画にしたいですね。」と語ってくださった。

最後に、今後の教育現場や教師への思いを伺った。
教育にも強い関心を持ち、「教師に

は幅広い経験を積んでほしい」と語る。「異業種での経験や海外での視点をもつ教師が増えれば、子どもたちにとってより魅力的な学びの場となるはずだと考えます。子どもたちの将来の選択肢にも影響があると思いますので、『経験の幅』をもち自身の経験を伝えられる教師が増えていくと面白いですね。」この言葉には、梶山さん自身の経歴も関係している。信州大学大学院卒業後、JR東海で約7年半にわたり、リニア車両の開発設計を担当した。プロジェクトリーダーとして多くの企業やチームを取りまとめ、現場管理なども務めて培った経験が、現在の多岐にわたる事業運営に生かされている梶山さん。

私たち教師も、これからの時代を生き抜く子どもを育てるために、できる限り自分の経験を広げ、十勝という環境を十分に生かした幅のある教育を行うことが必要だというご示唆を頂いた。



上：中学生に夕飯メニューで十勝の食材を説明 右：中学生に向けた札内川園地の魅力についての講話
下：道東モルック大会を十勝おもしろモルックの会として主催

株式会社 A O I L O

問合せ先

◆ 電話 0155-67-6847

◆ H P <https://aoilo.com>